ガタガタ通信

MIZUBE NI ASOBU KAI

No.33
2007・冬の号
発行
NPO法人
水辺に遊ぶ会
大分県中津市中央町2-8-35
TEL&FAX. 0979-23-5320

アジア・太平洋水サミットってなん？

世界の水問題、ワタシの水事情について考えてみる。

▼水は人間の安全保障と国家の経済的発展の根幹である（※水があるおかげで安全安心で快適なくらしが約束される）という認識のもと、アジア・太平洋諸国の首脳（※えらいひと）が集まって、水問題を話し合うアジア・太平洋水サミットがもうすぐ別府で開催されるらしい。でも、えらい人ばかりが話し合う訳じゃない。各国の企業、自治体、学会、メディア、市民団体、そして私たち普通の市民が、この場を使って情報交換したり、重要な問題について意見交換や交流を持つという役割もあるのだそうだ。今回の大分県別府市でのサミットが第1回目！　そのわりにあまり知られていない…と思うのはワタシだけ～？

▼そこでガタガタ通信編集部、水問題を世界規模で考えてみた。地球上の水のほとんどは塩水、つまり海の水だ。淡水（＝しょっぱくない水）はたった2.5%、しかもその大半は氷や地下水。人間が使えるのはたった0.01%だという事実に驚いた。本のちょびっとしかないんだ。命の源である大切な海だけど、海の水を飲んでくらすことはできないもんね。そして、ご存じの通り日本は世界に名だたる輸入大国。食料、衣料、木材など、さまざまなモノを外国に依存してるが、これらは全て生産国の水資源あっての商品なのだ。つまり、ほんのひとにぎりしかない地球上の水の多くが、形を変えて日本に輸入されているということなのだ。安い衣料品を作るための綿花の栽培のため、たくさんの水を使い、湖がかれてしまったり、穀物の過剰な栽培により、地下水位がどんどん下がっている地帯が発生するなどの現象がすでに起きているのだという。

▼安全な水が飲めずに死んでいく子どもたちが8秒に一人、基本的な衛生施設（※つまりトイレ）が得られない人たちが地球上に19億人、設備の遅れにより台風や洪水などで被害を受ける人々の8割がアジア・太平洋地域であること…いかに日本が、そして大分が水に恵まれた土地であってとしても、私たちはこういう現実に目を背けてはいけないのじゃないかなと思う。

▼自分たちの知らないところで水がどんな状況にあるかを知るとともに、私たちが永遠に守っていきたいと思う中津の海や川のことも、世界の、国内のに方々に知ってもらいたい！　という無謀にも世界制覇をたくらむ、いえいえ、世界デビューをはかるべく、ない知恵とガタガタな身体にむち打って頑張る事務局なのだ。皆さん、是非アジア・太平洋水サミットにご注目あれ！

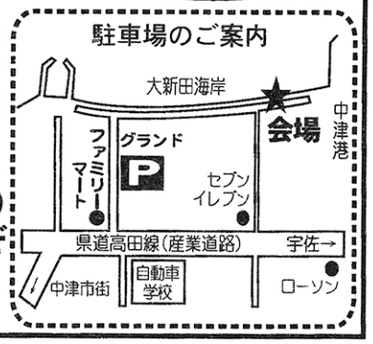
たとえば…水くみに行く時間が減る。
そうしたら、学校に通える子どもたちが増える。

たとえば…不衛生な水が原因の病気がなくなる。
そうしたら、大人は働くことができて貧困に苦しむ人々や子どもが少なくなる。

伝言板

大新田ビーチクリーン＆漂着物調査　今年最後！

11月23日㈮



集合：11:00大新田海岸
（セブンイレブンさん奥）
作業のできる服装と靴でどうぞ
参加費無料・大雨中止

Asia-Pacific Water Forum

1st Asia-Pacific Water Summit Beppu Japan 2007

★12月3・4日別府市にて第1回アジア・太平洋水サミットが開催されます。アジア各国の首脳が集まり、アジア地域の水問題の解決に向けた検討が行われます。大分の水環境を大切に思い、活動する水辺に遊ぶ会は、中津の豊かな海と水環境を未来につなぐための発信をしたいと考えています。

水サミットオープンイベントは12月1日～5日期間中、様々な行事が開催されます。参加自由です。

http://www.reg-clinkage.jp/apws/jpn/openevent/index.html

★水辺に遊ぶ会の行事は12月2日のシンポジウムと12月5日のエクスカーションです。

★詳しくは、同封のチラシ（両面あります）を見てね！

アヤシイ干潟調査隊２００８★隊員募集中

来年もカブトガニ調査や干潟調査を計画中です。我こそは！と思う方、興味のある方、力持ちの方、減量中の方…事務局までご連絡ください。

★毎月11日はジャスコでお買い物★イオン三光ＳＣイエローレシートキャンペーン★

毎月11日にお買い物をした黄色いレシートを食品レジ前の「水辺に遊ぶ会」ＢＯＸに入れていただくと、金額の合計の１％が水辺に遊ぶ会の活動資金として寄付されます。

ホームページ営業中！　遊びに来てね!!

http://www.max.hi-ho.ne.jp/y-ashikaga/

水辺に遊ぶ会MUSEUM

水辺に遊ぶ会ミュージアムは「建物のない博物館です」

http://www.geocities.jp/kabunykun/index.html

メールはこちらへ→mizube1999@yahoo.co.jp

■活動報告（2007.7.11～2007.10.31）

7.12 北部小学校４年生海の学習
7.13 舞手川河口カブトガニ調査
7.17 なかつん水物語編集会議
7.25 坂田明さん講演会参加
7.28～30 舞手川河口カブトガニ調査
舞手川アカミミガメ調査
7.29 夏休みひがた観察会
8. 1 干潟調査
8. 5 第2回山国川～中津干潟 現地見学
8.11 舞手川河口カブトガニ調査
8.22 中津市総合計画審議会出席
8.25 中津川生物調査
アカテガニ観察会
8.26～28 舞手川河口総合調査
9. 4 大分県提案公募型事業説明会参加
9. 5 水辺の楽校打ち合わせ
9. 6 コカコーラ環境教育賞表彰
9. 8 日田咸宣公民館主催干潟観察会
9. 9 大新田ビーチクリーン
9.11 水辺の楽校現地視察
9.15 水サミットエクスカーション下見
9.24 舞手川データロガー撤収
大新田漂着ごみ調査
9.26 大分県提案公募型事業プレゼンテーション
9.28 大分県地方港湾審議会出席
9.29･30なかつん水物語編集作業
10. 1 水サミットビーコンプラザ説明会
10. 7 舞手川河口測量・コドラート調査
10.10 大分県道州制研究会出席
10.11 イオン三光清掃活動参加
10.13 中津川生物調査
10.15 海苔種付け手伝い
10.19 北部小学校海岸清掃と学習
沖代小学校４年生干潟観察会
10.22 水サミット通訳さん打ち合わせ
10.24 がんばれ大分ファンド運営会議出席
10.25 南部小学校５・６年生干潟観察会
10.26 北部小学校４年生干潟観察会
10.28 第3回山国川～中津干潟 現地見学
10.29 水サミット通訳さん現地打ち合わせ

■コカ・コーラ教育環境財団様よりコカ・コーラ環境教育賞をいただきました。ありがとうございました。■損保ジャパン環境財団様より損保ジャパンちきゅうくらぶ社会貢献ファンドをいただきました。ありがとうございます。

編集後記

■「鰯雲海を小さくしたりけり」宇咲冬男作。エアコンというものがない我が家の夏。暑さが増すと猫は避暑に出かけます。避暑地は不明。（あ）

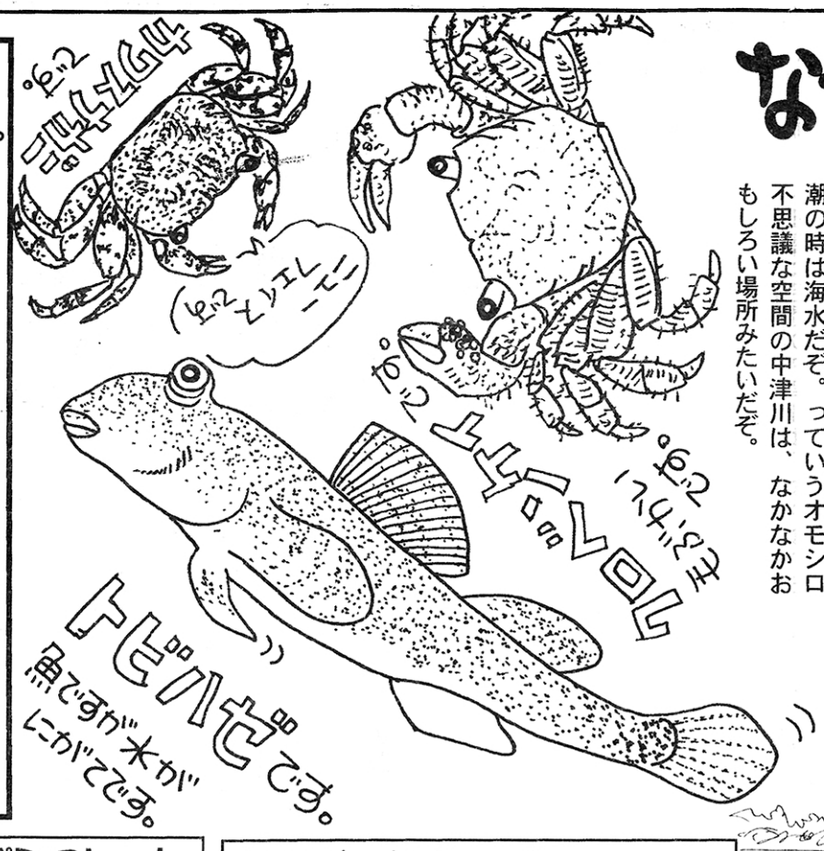
■遅れに遅れたガタガタ通信。楽しみにしてくれている読者の皆さま、ゴメンナサイ。次号は予定通り刊行します！ととりあえず宣言してみる…。（う）

なかなかおもしろいぞ。中津川。

▼昔々、今から四〇〇年くらい前、山国川は今の中津川の位置を流れていたのだそうだ。敵が攻めてきてもすぐわかるように、海と河原のアシ原に囲まれた河口部に、殿様は城を築いた。中津城が日本三大水城と呼ばれる所以であーる。もちろん海や川は敵からの襲撃を避けるばかりではなく、船を使って他所の場所に出かけたり、交易するのにも利用された。闇無浜神社の横にある「お船寄」はその頃の名残なのだ。竜王の漁師さんたちは、この港を使って漁をすることを、お殿様に許されていたらしい。そういえば「お台場」なんてのもあったらしい。

▼さて、それから約八〇年、大洪水が発生すると、現在の小祝と小犬丸（福岡県側）の間に流れる裏川が決壊、更にその後、明治の大洪水の土砂で山国川が埋まってしまう。こうして裏川が山国川本流となり、それまで本流だった川が中津川と呼ばれるようになったのだとか。ほほう。中津川は山国川だったのか。小祝は島じゃなくて、川の向こう岸だったんだー。なんて昔の水辺に思いをめぐらせてみるのもおもしろい。

▼山国川なのに山国川じゃなくなった中津川、ちょっと短くてかわいそうな存在の中津川に、アヤシイ干潟調査隊はこの夏注目！してみました。すぐそこは干潟と海、川の水だって満潮の時は海水だぞ。っていうオモシロ不思議な空間の中津川は、なかなかおもしろい場所みたいだぞ。



今年ものりさんの海苔が冷たい海ですくすく育ってます。

●なかなかなかなか涼しくならなかった今年の秋、海の様子はどうだろう？ちゃんと種付けできるかな？　と心配しましたが、10月15日に無事種付けが終わりました。（今年は途中で作業を脱走出！のりさん、奥様、ごめんなさい！）急に寒さが増すようになって、海苔の赤ちゃんはそろそろ長くなり始めた頃かなあと思います。

●今年も海苔漁師ののりさんと奥様が作る、中津のすごーく美味しい海苔、予約受け付けます。

●枚数は１００枚・５０枚・１０枚の３種類。お値段と送料は事務局までご連絡下さい。

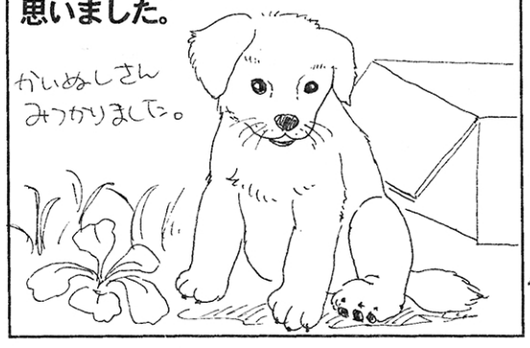
●TEL&FAX. 0979-23-5320（足利）
TEL&FAX. 0979-22-5823（安倍）
※電話は午後７時以降にお願いします。
メール：mizube1999@yahoo.co.jp

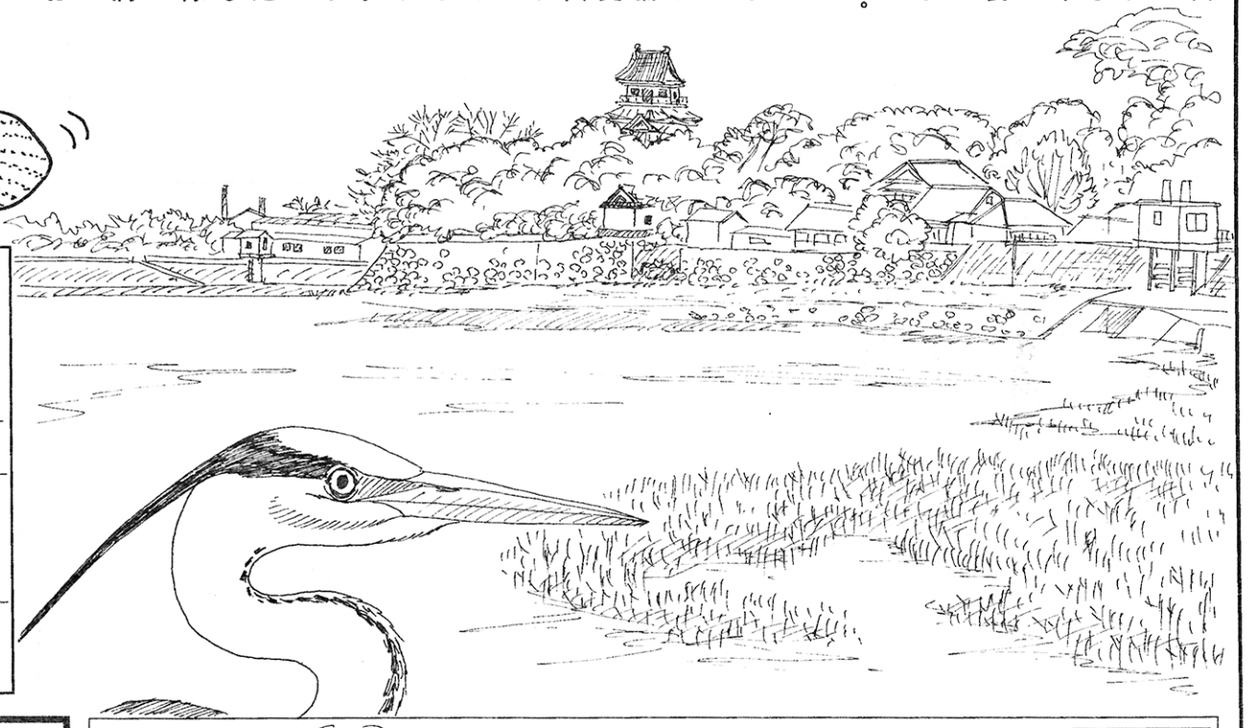
カラーパンフレット「なかつん水物語」できました!

●山国川から中津干潟までの水の文化や自然のエッセンスを拾い書きしたパンフレットを制作しました。

●ご希望の方にお分けいたします。（お近くの方には、できる限りお届けします。遠くの方には送料負担でお願いします。）

９月のビーチクリーンで、こんな拾いものをしました。いのちは大切にしてもらいたいなあと思いました。

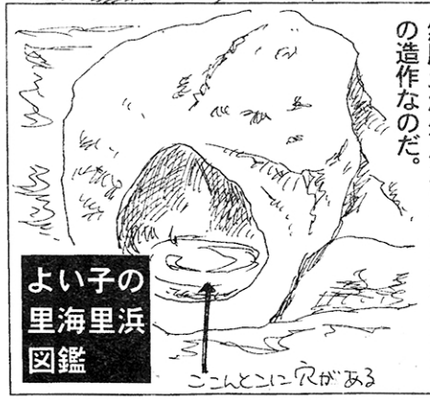




水辺に遊ぶ会 野外ミュージアム No.1 水牢（みずろう）

▼山国町草本の川の中に鎮座する大きな岩に、何やら大きな穴が空いている。人間ならば四人くらいは入れるかナー、と思って見ていると、この岩は「水牢」なのだと教えられた。江戸時代、罪人をここに閉じこめていたんだと。

▼耶馬渓の背後にある英彦山、犬ケ岳などの山岳ルートを通じて、この一帯は山岳信仰の影響も受けているし、いくつも残されている山城跡をたどると、結構人の出入りがあった事も実感できる。だから中には悪い人がいて、本当に閉じこめられていたかもしれないな。事の真偽はともかく、耶馬渓の自然風土が生んだいかにもな水と石の造作なのだ。



H師匠に聞く 中津ん『笹干見漁』

昭和28年頃、堤防が切れたでしょうが、あすこの新開。キジア台風とルース台風の時、その時に私は宮崎の方に就職しちょったけど、どうしようもならんから、家の方に帰って家の仕事をせにゃならんという事で、それから私はこのヒビの仕事を受け継いだわけです。その前はまだおやじが健在じゃって、私がおらんでも出来よったけど。台風が来て私んところも堤防が決壊して、二年間米が一つもとれませんでした。その時は本当に貧乏したです。もう、あんた、家は二階家だけど一階の軒先まで潮水がつかえてね、何にもなくなった。堤防が切れたからね、一瞬で。うん、そうそう、新大塚からの今の竜王のお宮の裏まで来た。一面に。一階の軒下が、さあ、20～30㎝ついちょったかね、それくらいの勢いで潮水が。日にちはよう覚えんけどね、その時の台風は二年続きました。それでもヒビには生活が掛かっちょっけん、せんことはならんので、苦しいながらも耶馬渓の方に勤めに行ったもんで。笹が来んことには商売にならんから、あの頃は笹三円という安い時で、一本三円。七千本やったら二万一千円。土方にいって、堤防切れて堤防をつく仕事に、日当がその頃百八十円から二百円になって、終わり頃は二百八十円くらいになった。

（つづく）